

都市再生整備計画 事後評価原案
青海地区

平成29年11月

新潟県糸魚川市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	糸魚川市		地区名	青海地区			面積	237ha		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	141.5百万円	国費率	40%				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路((市)三峯線、(市)青海通線、(市)ぬな川大坪線、(市)田海中島1号線ほか、(市)南寺町1号線)、地域生活基盤施設(竹のからかい広場)										
		提案事業	地域創造支援事業(竹のからかい広場(オブジェ))、事業活用調査(事後評価)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路((市)南寺町1号線)	削除/追加の理由		事業の緊急性を検討した結果、削除する方針となったため、事業削除							
		提案事業	-	-		-							
	新たに追加した事業	基幹事業	-	-		-							
		提案事業	-	-		-							
	交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更	変更なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	安全に通行できる人数の増加率	%	0	H24	36.2	H29	-	38.6	○	あり なし	生活道路の改良整備により、安全で歩きやすい歩行空間が創出され、歩行者の安全な通行が確保された。	平成30年4月
	指標2	避難所となる公園の未整備率	%	4.1	H24	2.0	H27	-	2.0	○	あり なし	竹のからかい広場の整備により、避難所機能を有する公園が確保され、半径300m以内での避難可能な公園の未整備率の改善につながった。	-
指標3	地域環境美化活動参加者数	人	2,700	H24	3,000	H29	-	3,300	○	あり なし	地域の環境美化活動に取り組み住民への支援により、住民のまちづくりに対する意識が高まり、環境美化活動に積極的に参加する住民が増加した。	平成30年4月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路である(市)三峯線等の側溝整備を行ったことで、児童・生徒の通学路における交通安全が確保された。 竹のからかい広場は、防災拠点並びに地域住民の憩いの場であるほか、国の重要無形民俗文化財である「竹のからかい」のアピールの場でもあり、青海駅前から続く竹のからかいシンボルロードと一体となって地域の魅力を伝えている。 												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	まちづくり活動支援事業の実施過程において、住民参加のもとで、花植え活動や草刈り活動を実施。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 活動の広がりを応援するとともに、住民参画による協働のまちづくりを推進していく。						
持続的なまちづくり体制の構築	- (既存自治会の組織基盤や活動体制がある程度整っているため、既存組織で対応)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も既存組織で対応していくとともに、自治会の活動を積極的に支援し、地域コミュニティの活性化と持続可能なまちづくりを推進していく。							

様式2-2 地区の概要

青海地区(新潟県糸魚川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

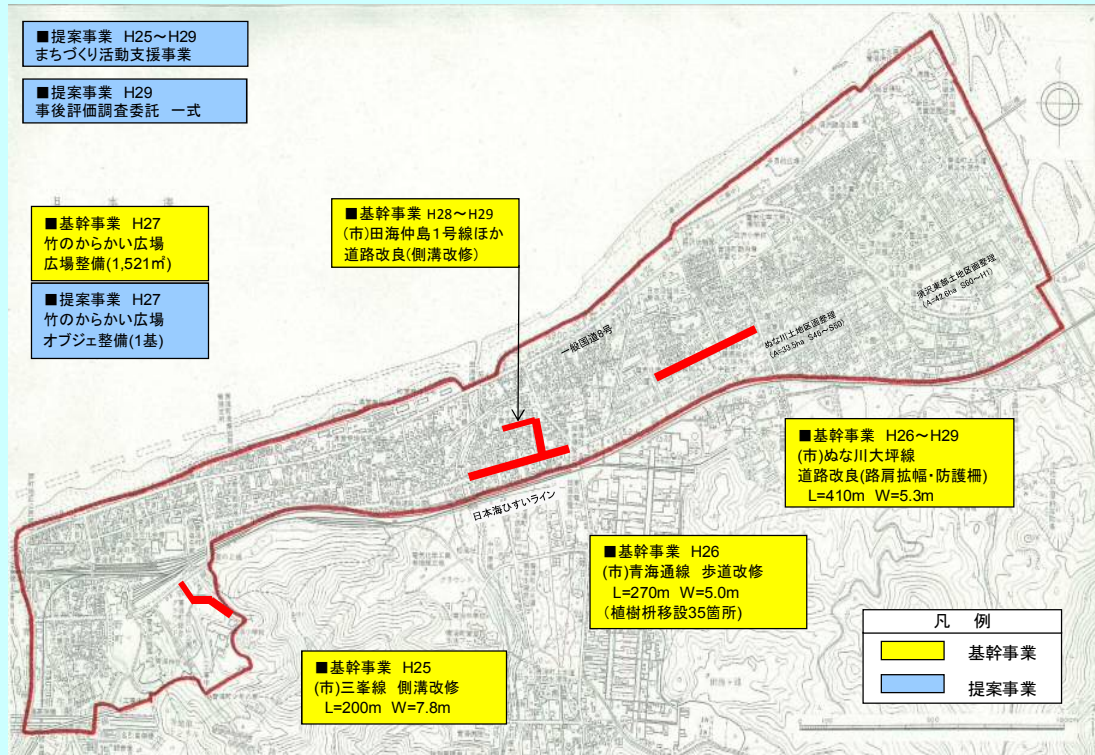
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
子どもからお年寄りまで安心して暮らせる、安全なまちづくり 小目標1:安全に通学ができる生活の道づくり 小目標2:安心して生活するための防災機能の充実	安全に通行できる人数の増加率	単位: %	0 H24	36.2 H29	38.6 H29
	避難所となる公園の未整備率	単位: %	4.1 H24	2.0 H27	2.0 H27
	地域環境美化活動参加者数	単位: 人	2,700 H24	3,000 H29	3,300 H29



竹のからかい広場
(基幹事業 地域生活基盤施設)



(市)三峯線 側溝改修
(基幹事業 道路)



(市)青海通線 歩道改修
(基幹事業 道路)



(市)めな川大坪線 道路改良
(基幹事業 道路)



(市)田海仲島1号線ほか 道路改良
(基幹事業 道路)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 道路の側溝改修や路肩拡幅整備、歩道改修等により、生活道路や通学路の安全な歩行環境が創出され、地区住民や通学児童・生徒の道路通行の安全性が確保された。 竹のからかい広場の整備により、地域の避難場所が確保されるとともに、半径300m以内での避難可能な公園の空白地区が縮減され、避難所となる公園の未整備率の改善につながった。 環境美化活動に取り組む住民等への支援により、まちづくりに対する住民意識が高まり、活動参加者数が増加し、地域コミュニティの活性化に寄与している。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も幅員狭小区間の解消により、安全な歩行者空間が連続する道路ネットワークの形成に取り組む。 竹のからかい広場での防災訓練の実施や防災イベントの開催など、防災面からの広場の有効活用を推進することにより、地域住民の防災意識を高め、地域防災力の向上を目指す。 様々な分野において、住民主体のまちづくり活動が活発に展開されるよう、活動リーダーの養成や活動への参加のきっかけづくり等により参加者の拡大を促進し、住民主体のまちづくり活動を持続的に発展させる。